

純心だより

2 月

この間お正月が明けたと思つていたらもう二月、各施設で節分も賑やかに行われたようです。今年とはとびつきり寒い冬と覚悟していましたが、もう春の気配がするようになりました。野原には、つくしが頭をのぞかせています。真つ赤なさざんかはもう少し花びらを落とし始めました。蟠梅もいい香りをまだ放っています。梅の花、桃の花、それから桜、お花に癒される季節の始まりです。

そしてコロナもずいぶんおとなしくなってきました。長い間の皆様の辛抱がやっと報われましたね。もうそろそろマスクは外せませんが面会をして頂くと思つています。いつまで待つてもゼロにはなりませんから。

ご家族と近くで会えることは皆んな最高にうれしいですね。本当に良かったです。

もうすこし暖かくなったらみんなで外気浴を兼ねてお庭のお花を楽しみましょう。そしてリハビリにも力を注ぎましょう。少しずつ少しずつ動けるように。早く春になって皆様の顔がほころぶ日が多くなりますように願っています。

前田計子



鬼は外！福は内♪

岡山純心会では毎年各施設で節分祭を開催しています。節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があり、昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。そのため、春が始まる前の日、冬と春を分ける日を節分と呼ぶようになったそうです。

節分に豆まきを行うのは、季節の区切りとなる節分の日にその年の厄を払い、新しい年に福を呼びこむためと、いわれています。

また、恵方巻きを食べる風習は、その年の恵方を向いて、しゃべらずに黙々と食べると願いが叶うといわれています。

今年の通所リハビリテーションでの節分祭では赤鬼と緑鬼が出現！鬼に向かって、鬼は外！福は内！の掛け声で豆に見立てたボールを投げ、見事！鬼を撃退しました。ご利用者様も職員も大盛り上がりで、最後は仲良く写真を撮って今年の厄を払いました。

グループホームでは豆まきのほか手巻き寿司作りを行いました。皆さん思い思いに好きな具材を詰めてみんな仲良く南

東を向いて食べました。これからも皆さんにたくさん福が訪れますように願っております。





ハートフルかがやき荘のご紹介

ハートフルかがやき荘は介護老人保健施設です。病院を退院した方、在宅での生活が難しくなった方が入所され、日々のリハビリを通じて在宅復帰を目指すという施設です。



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が計画を立て、その計画に沿って入居者の皆様は日々リハビリに励まれています。入居者の皆様に快適な生活をお届けする為室温の管理、適度な換気、こまめな水分補給をして頂き皆様の健康に医師、看護師、介護士が気を配っています。 コロナ対策で面会

がビデオ面会のみでの為、なかなか会えない日々が続いています。ベランダ越しの面会も対応しております。今後も入居者の皆様に安心で安全な生活が提供できるように、スタッフ一同一丸となって対策に取り組んでいきたいと思えます。

また、かがやき荘は「幼老一体型施設」という全国でも珍しい施設である一面もあります。コロナ禍が治まりを見せず、隣接する「ポエム保育園おかやま」との交流が出来なくなるとなりましたが、窓から見下ろせばいつも元気にはしゃぐ園児の姿を見ることができ、入居



者様の日々の癒しとなっています。交流は減っていますが、敬老の日に園児が、かがやき荘利用者様のためにプレゼントを作ってくれたり、園児が育てたひまわりでフラワーアレンジメントを作ってくれたりしています。



以前のような交流が出来る日々が戻ってくることを心から祈っています。大勢の人が集まったイベントが出来なくなっていますが、毎月職員が工夫を凝らし季節に合った催しを提供しています。

先月は、スタッフが自作したかがやき神社の鳥居へのお参りをされたり、おみくじをひかれたり、書初めをしたりとお正月気分を味わいました。

また、行事などのない時でも、空いた時間を利用してカラオケを始めると皆様の熱唱がホールに響き、将棋を始めると真剣勝負さながらの熱い火花が散り、集まって塗り絵を始めるとお互いの作品を褒め合い、皆様日々思い思いの自由な時間を過ごされています。

今後もスタッフ一丸となって皆様により良いサービスを提供出来るように努めてまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



岡山純心会 二月の予定とお知らせ

- 節分祭 二日 きらめき荘他
- 和菓子の日 三日 全施設
- 誕生日会 二十一日 全施設

